

心の三毒と現代社会

～三毒は、三頭の毒蛇のごとし～

神・仏の意思による判断基準



人間主義（ヒューマニズム）
人間にとっての必要性が判断基準



必要ならばそれが『善』
人間の欲望に基づく



諸難題が起こり、しかも止まらない。
神・仏に委ねられないとすれば、人間が、賢明になるしかない。

疫病

おろか

真理がみえない
心のくらやみ
貪り・瞋りを制御できない

いかり

我（愛、見、慢、執）
自己中、人間中、慢心、固執

合戦

むさぼり

「もっともっと」
古典 欲望の過剰
+
現代 煽り立てられる欲望
(市場のフロンティア拡大)

飢渴

※三毒充満した時には、個人のみならず世界をも不幸にする。

小の三災の原因→飢渴、合戦、疫病

大量消費・大量生産型の経済システム・グローバリゼーション
政治・社会システム



地球環境破壊
貧困格差
資源問題
過度な競争社会→精神疾患
紛争・戦争(←生存条件の劣化)